

【倫理意識調査報告書2009】

日本人の死生観に関する意識調査報告書

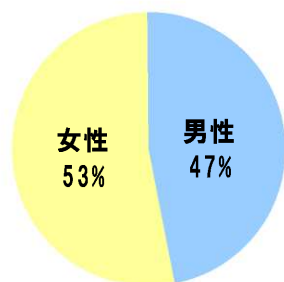
生者と死者との心の距離に関する実態調査

調査対象者プロフィール

調査対象者プロフィール

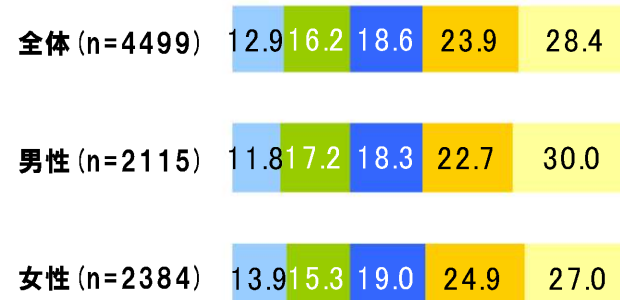
1. 性別【%】

(n=4499)



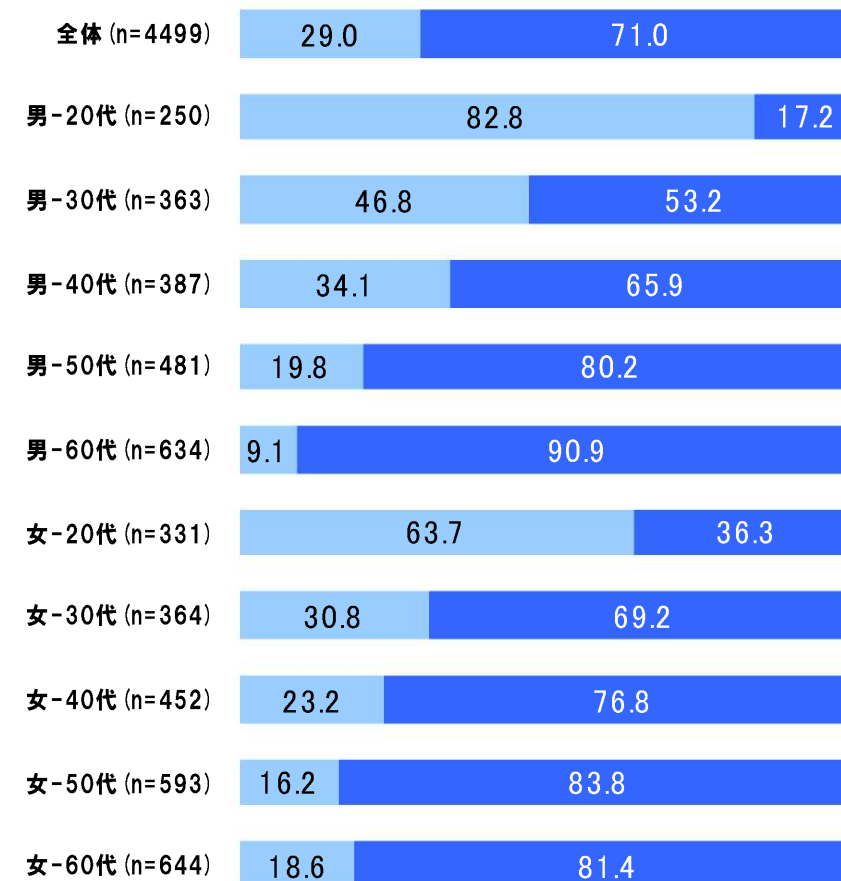
2. 年代【%】

20代 30代 40代 50代



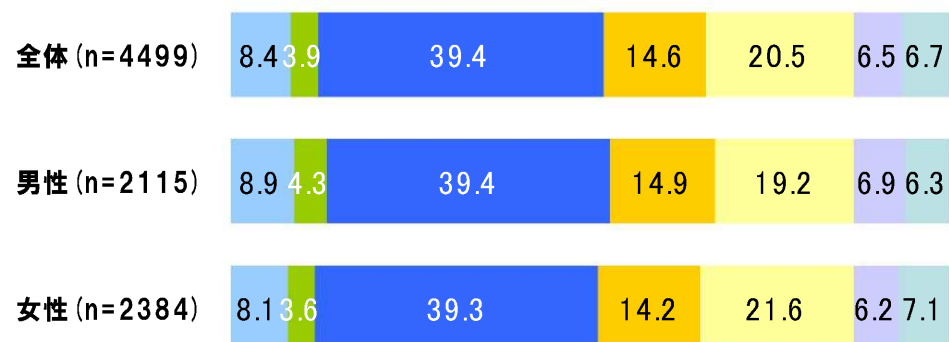
3. 未既婚【%】

未婚 既婚



4. 居住地【%】

北海道・東北 関東 首都圏(1都4県) 中部 近畿 四国・中国 九州・沖縄



調査対象者プロフィール

5.性・年代×職業【%】

		合計	職業										
			会社員	公務員	自営業	学生	専業主婦	パート・アルバイト	専門職（弁護士・医師・会計士等）	教職	無職	会社経営・会社役員	その他
全体		4499 100.0	1396 31.0	100 2.2	365 8.1	123 2.7	1106 24.6	506 11.2	81 1.8	63 1.4	479 10.6	114 2.5	166 3.7
性×年代	男-20代	250 100.0	122 48.8	8 3.2	10 4.0	51 20.4	0 0.0	26 10.4	5 2.0	4 1.6	18 7.2	0 0.0	6 2.4
	男-30代	363 100.0	257 70.8	17 4.7	19 5.2	4 1.1	0 0.0	18 5.0	14 3.9	3 0.8	20 5.5	6 1.7	5 1.4
	男-40代	387 100.0	239 61.8	20 5.2	52 13.4	1 0.3	0 0.0	6 1.6	11 2.8	5 1.3	19 4.9	16 4.1	18 4.7
	男-50代	481 100.0	241 50.1	24 5.0	78 16.2	1 0.2	0 0.0	11 2.3	8 1.7	19 4.0	47 9.8	35 7.3	17 3.5
	男-60代	634 100.0	145 22.9	5 0.8	92 14.5	0 0.0	0 0.0	53 8.4	10 1.6	10 1.6	254 40.1	38 6.0	27 4.3
	女-20代	331 100.0	102 30.8	3 0.9	5 1.5	62 18.7	87 26.3	36 10.9	6 1.8	2 0.6	16 4.8	0 0.0	12 3.6
	女-30代	364 100.0	96 26.4	6 1.6	14 3.8	3 0.8	151 41.5	54 14.8	6 1.6	3 0.8	17 4.7	4 1.1	10 2.7
	女-40代	452 100.0	94 20.8	5 1.1	27 6.0	1 0.2	178 39.4	102 22.6	6 1.3	7 1.5	14 3.1	3 0.7	15 3.3
	女-50代	593 100.0	72 12.1	10 1.7	32 5.4	0 0.0	278 46.9	119 20.1	9 1.5	7 1.2	28 4.7	7 1.2	31 5.2
	女-60代	644 100.0	28 4.3	2 0.3	36 5.6	0 0.0	412 64.0	81 12.6	6 0.9	3 0.5	46 7.1	5 0.8	25 3.9

30代～50代女性では、専業主婦の回答率が他の調査より高い傾向があった。

「死者」への意識・行動（亡くした人を思い出すこと）

「死者」への意識・行動（亡くした人を思い出すこと）

死者を偲ぶ状況は、何かのきっかけで思い出すことが強く、特に女性に日常的に強い「偲ぶ行為や想い」が見られる

■ 32.3%の人が今でも亡くなった人を頻繁に思い出すことがあり、62.7%は何かのきっかけで思い出すことがあると回答した。

30代以上の女性を中心に3割を超える人が「今でも頻繁に思い出」し、「その人がいつも見守ってくれていると感じる」と回答しており、女性たちにとっては、死者は身近な存在であり、生きる上での心の支えになっている。この傾向については男女差が大きく、男性は死者に対しドライな傾向が見受けられる。

■ 亡くした人を思い出すきっかけは、お墓参り、命日、お彼岸、仏壇遺影を前にしたときなどの具体的な偲ぶ行為に関するタイミングが高い。また、年代が上になるほど、また特に女性がこういったきっかけに思い出すことが多い。

■ 女性では、具体的な偲ぶ行為と同じくらい、「何気なく、ふと街中などで」がきっかけとなり、「その人の好きだったものを見たり聞いたりした時」、「形見の品を見たとき」、「その人と一緒に行った場所」と、ふとしたきっかけで死者を思い出している。また、親族や友人・知人が集まったときなどの会話で、その人との思い出を共有し、深めてゆく傾向が見受けられる。

Q5.人生で影響のあった人を偲ぶ状況【%】

※各数字は経験者3213のみ

		Q5(統合) 亡くした人を思い出すこと						
		経験はない	今でも頻繁に思い出す	何かのきっかけで思い出す	整理がまだ悲しくていられない心の	いつでもその人が感じ守る	とて心、の整理が思いついて	を振り返らず自分のことと生
全体	3213	7.9	32.3	62.7	6.5	26.2	12.0	5.0
男-20代	150	12.7	19.3	62.7	4.7	16.7	12.0	5.3
男-30代	226	8.0	25.2	65.9	6.6	17.7	12.8	2.7
男-40代	261	6.1	24.9	65.9	4.2	18.0	12.6	5.7
男-50代	343	7.6	24.5	65.0	1.2	15.2	14.6	5.5
男-60代	462	11.3	27.3	60.6	2.2	21.9	13.2	6.3
女-20代	235	7.2	31.1	67.7	7.2	21.7	12.3	6.0
女-30代	270	8.5	39.6	66.7	8.9	30.4	5.9	2.2
女-40代	313	5.4	39.3	62.3	8.6	30.0	9.9	3.5
女-50代	444	4.5	41.0	57.0	9.5	33.6	11.7	5.2
女-60代	509	9.0	37.9	61.1	10.2	39.7	13.4	5.9
		50%以上	40%以上	30%以上				

Q6.人生で影響のあった人を思い出すきっかけ【%】

Q6(統合) 亡くした人を思い出すきっかけ										
経験はない	命日が来たとき	お彼岸やお盆のとき	お墓参りに行ったとき	仏壇や遺影を目にしたとき	親族や友人・知人が集まったとき	形見の品を見たとき	その人の好きだったものを見たり聞いたりしたとき	その人と一緒に行った場所を訪れたとき	何気なく、ふと街中など	その他
10.6	47.0	44.0	49.2	43.8	33.8	23.6	34.7	25.4	44.6	5.9
14.7	35.3	30.0	40.0	33.3	26.0	14.0	18.7	16.0	32.0	0.7
10.6	38.1	34.1	39.8	36.3	27.9	16.8	22.6	17.3	44.7	6.6
8.4	39.8	38.3	41.8	38.3	27.6	18.4	26.1	21.8	46.0	4.2
12.0	41.7	38.8	45.8	37.3	24.5	14.6	23.0	16.9	39.4	4.1
13.6	42.0	48.3	51.5	39.6	28.4	11.0	18.8	16.2	29.9	5.8
11.5	41.3	37.4	47.7	48.5	36.6	25.1	33.2	25.1	51.9	5.5
10.0	51.1	45.2	49.6	48.1	43.3	33.7	45.6	32.6	54.1	8.5
8.3	49.5	44.7	46.6	46.6	40.6	32.3	44.7	30.0	53.4	8.9
7.0	56.1	48.9	57.4	51.4	37.4	32.2	49.3	35.4	54.3	6.1
11.4	57.0	52.7	55.2	48.1	39.5	30.5	47.7	32.4	42.2	5.7
		50%以上	40%以上	30%以上						

「死者」への意識・行動（亡くした人を思い出すこと・死者別）

何かのきっかけで思い出す肉親や配偶者、ペット。女性は彼らがどこかで見守ってくれているという思いが強い。

■亡くした人をどのように思い出すかを見ると、「何かのきっかけで思い出す」ことが一番高く、これは男女とも肉親を中心にすべての関係の死者に強い。

また、今でも頻繁に思い出すのは、男性は「配偶者」「ペット」「両親」で、女性は「ペット」「配偶者」「姉妹」「両親」の順。但し、これらすべての頻度は配偶者を除けば、女性の方が高い。なお、ペットへの思いの強さは核家族や少子化の現代独特なのかもしれない。

■男女で差が顕著なのが、「いつもその人が見守ってくれていると感じる」傾向であり、女性は、両親や兄弟や姉妹の肉親、ペット、配偶者、恋人にこの感覚を持っている傾向が強い。

■悲しくて心の整理が付かないのは、男性では「恋人」、女性では「姉妹」「配偶者」と差が見られ、男性は「配偶者」がなくなった場合の「心の整理」は女性より付いている傾向が高い。

※各数字は経験者3213サンプルベースの積み上げ

思い出す人と思い出し方男女別【%】

			Q5(統合) 亡くした人を思い出すこと													
			男性							女性						
			経験はない	今でも頻繁に思い出す	何かのきっかけで思い出す	整理まだがついていない心の	いつまでもその人が見守っている	心は整理がついていない	心の整理がついていない	亡くした人自身のこと生	経験はない	今でも頻繁に思い出す	何かのきっかけで思い出す	整理まだがついていない心の	いつまでもその人が感じ守る	心は整理がついていない
(男性n数) (女性n数)																
全体	1442	1771	9.1	25.0	63.7	3.3	18.4	13.2	5.3		6.9	38.3	62.0	9.1	32.6	11.1
父親	564	718	6.9	31.4	66.1	2.8	23.9	15.1	6.0		5.0	45.4	63.8	9.9	44.3	12.4
母親	376	464	7.4	30.3	68.4	4.0	22.9	11.4	6.1		7.1	48.7	60.1	12.7	48.7	13.1
祖母	272	403	9.6	29.0	70.6	6.3	27.2	17.3	5.1		6.0	43.4	72.0	7.9	36.7	14.4
祖父	238	307	10.5	29.0	70.2	5.9	29.0	15.5	4.2		7.8	37.8	73.6	7.2	29.6	12.1
親類	281	304	14.2	27.0	74.0	2.1	21.4	17.4	6.0		11.2	40.8	79.3	7.6	30.6	18.1
恩師やお世話になった人	257	242	11.7	26.8	73.9	3.9	18.3	14.4	6.6		9.5	38.4	76.9	8.7	34.3	14.0
ペット	76	179	7.9	55.3	77.6	10.5	36.8	19.7	3.9		7.8	62.0	79.3	21.8	49.7	12.8
思い入れのある有名人	105	111	8.6	29.5	75.2	7.6	18.1	15.2	7.6		12.6	42.3	75.7	8.1	31.5	18.0
兄弟	99	100	12.1	29.3	67.7	5.1	23.2	16.2	6.1		10.0	32.0	66.0	14.0	43.0	9.0
配偶者	16	60	6.3	62.5	75.0	6.3	31.3	31.3	18.8		5.0	60.0	53.3	28.3	53.3	11.7
姉妹	32	55	18.8	25.0	59.4	12.5	15.6	15.6	12.5		10.9	60.0	67.3	30.9	54.5	23.6
恋人	23	34	17.4	39.1	65.2	26.1	30.4	21.7	8.7		14.7	50.0	70.6	11.8	47.1	20.6
その他	326	422	17.5	23.6	65.3	3.1	13.5	18.4	6.4		15.6	35.1	67.8	9.0	24.4	13.7
			70%以上	40%以上	30%以上						70%以上	40%以上	30%以上			

女性は「墓参り」「1人で偲ぶ」「関係者と偲ぶ」意識が高く、男性と差がみられる

- ### Q7.人生で影響のあった人を偲ぶ方法【%】

50%以上	40%以上	30%以上
● 50%以上 ● 40%以上 ● 30%以上	● 50%以上 ● 40%以上 ● 30%以上	● 50%以上 ● 40%以上 ● 30%以上

「死者」への意識・行動（偲び方・亡くなった人別）

男女とも、父母の墓への定期的なお参りを実施する率が高いが、女性はさらに祖父母の墓参りも実施。

■男女とも偲ぶ行為が高いのが配偶者。また女性は偲ぶ対象に「姉妹」「恋人」「有名人」が高くなっている。

■男女とも定期的に墓参りをするのは父母が高く大きな差はないが、女性は母親を関係者と偲ぶこと、たまの祖父母の墓へのお参りも男性より高く実施している。

Q7.人生で影響のあった人を偲ぶ方法とその対象(人)【%】

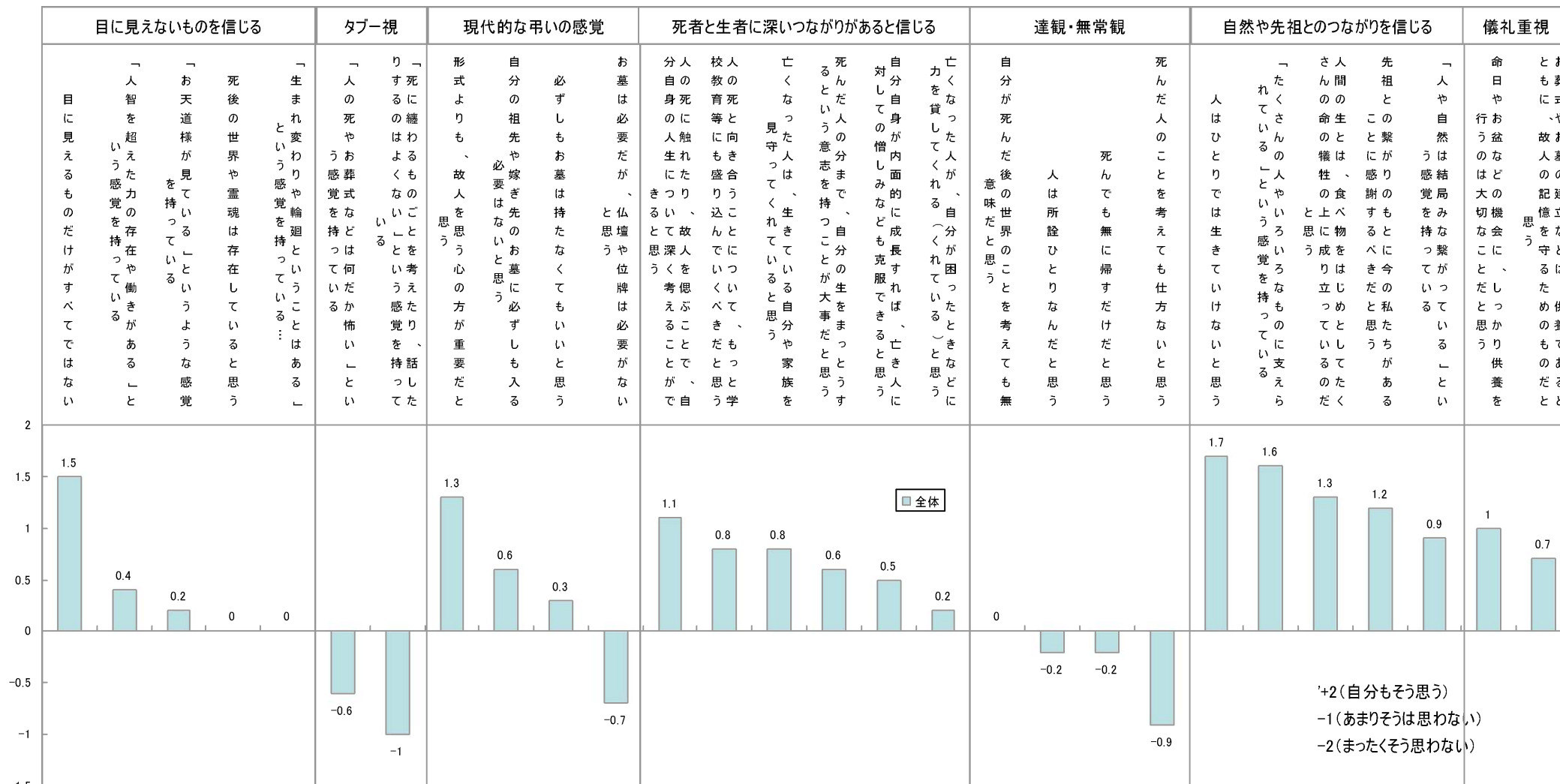
			Q7(統合) 亡くした人を偲ぶ方法																			
			男性										女性									
			経験はない	故人を偲ぶために、特別な参りをする	たまにだが、時間があれば、お参りをする	毎日欠かさずお参り・仏壇を拝むなどする	定期的に御参りする	命日などに、1人でその故人を偲ぶ	命日などに、家族や友人・関係者などとその友人を偲ぶ	故人の写真を身近にしている	陰膳などをしている	その他	経験はない	故人を偲ぶために、特別な参りをする	たまにだが、時間があれば、お参りをする	毎日欠かさずお参り・仏壇を拝むなどする	定期的に御参りする	命日などに、1人でその故人を偲ぶ	命日などに、家族や友人・関係者などとその友人を偲ぶ	故人の写真を身近にしている	陰膳などをしている	その他
(男性n数)	(女性n数)		12.9	20.6	24.9	11.2	29.5	24.4	12.7	3.1	25.2	1.1	10.5	20.3	30.3	14.4	28.2	33.5	27.0	4.3	24.9	1.7
全体	1442	1771																				
父親	564	718	10.5	21.1	27.8	19.1	41.8	31.6	17.0	5.7	19.3	1.4	7.9	18.2	35.0	20.6	39.1	40.8	37.0	6.5	21.2	1.9
母親	376	464	9.3	19.1	26.6	22.1	41.5	26.6	19.1	4.0	19.1	0.8	10.6	18.3	31.0	25.0	39.2	39.7	42.2	8.6	19.8	1.7
祖母	272	403	13.6	25.0	34.9	10.3	37.1	26.1	11.4	2.2	25.4	2.2	11.2	27.3	38.5	11.4	27.8	37.5	25.1	3.2	26.3	1.7
祖父	238	307	13.0	26.5	34.5	7.6	32.8	23.1	11.3	2.1	25.2	2.1	14.7	22.1	43.6	6.5	29.0	32.6	21.2	2.0	27.4	2.6
親類	281	304	16.7	34.9	28.8	10.7	30.2	29.2	10.7	1.8	28.8	1.8	16.1	28.3	34.9	13.8	26.6	36.2	26.3	2.6	35.5	1.3
恩師やお世話になった人	257	242	20.6	31.1	28.0	7.4	22.2	25.3	10.5	3.1	40.9	2.7	17.4	32.6	28.9	10.7	28.1	36.0	26.4	4.1	41.3	3.3
ペット	76	179	23.7	34.2	27.6	23.7	35.5	26.3	32.9	3.9	38.2	3.9	17.3	21.8	34.6	20.1	30.2	39.1	62.0	10.1	38.5	2.8
思い入れのある有名人	105	111	23.8	33.3	24.8	6.7	20.0	27.6	16.2	1.0	38.1	1.9	26.1	25.2	29.7	10.8	25.2	40.5	31.5	3.6	55.0	4.5
兄弟	99	100	13.1	15.2	38.4	16.2	32.3	26.3	13.1	1.0	24.2	1.0	11.0	23.0	37.0	16.0	34.0	37.0	37.0	3.0	24.0	0.0
配偶者	16	60	25.0	25.0	31.3	43.8	43.8	56.3	50.0	12.5	6.3	0.0	6.7	13.3	28.3	60.0	41.7	45.0	55.0	15.0	18.3	1.7
姉妹	32	55	6.3	25.0	34.4	9.4	34.4	34.4	18.8	0.0	28.1	0.0	9.1	18.2	40.0	25.5	34.5	45.5	45.5	9.1	23.6	0.0
恋人	23	34	21.7	26.1	34.8	13.0	26.1	52.2	21.7	4.3	30.4	0.0	14.7	32.4	32.4	8.8	20.6	41.2	35.3	0.0	41.2	0.0
その他	326	422	24.2	24.5	20.2	8.6	22.1	26.7	12.3	2.1	39.9	1.8	20.4	28.2	26.1	10.4	19.9	28.4	20.1	3.8	39.8	2.4
			50%以上	40%以上	30%以上							50%以上	40%以上	30%以上								

「人の死」に関する考え方・価値観（全体）

「人の死」に関する考え方・価値観（全体）

（Q8）

■人の死に関する価値観では、「人はひとりでは生きていけない」「たくさんの人やいろいろなものに支えられている」「目に見えるものだけがすべてではない」「形式よりも故人を思う心のほうが重要だと思う」「人間の生はたくさんの命の犠牲の上に成り立っている」「先祖との繋がりのもとに今の私たちがあることに感謝すべき」などにポジティブな反応があり、身近な人を亡くすという実体験を通じて、死者に対する思いやりや感謝の気持ちははぐくまれてるようである。死を怖がりタブー視したり、死んだ人のことを考えても仕方ないなどといった達観・無常観を持つ人は全体で見ると少数派であった。



「人の死」に関する考え方・価値観（男女年代別）

（Q8）



No	+2(自分もそう思う) -1(あまりそうは思わない) -2(まったくそう思わない)	全体平均 n	男-20代 250	男-30代 363	男-40代 387	男-50代 481	男-60代 634	女-20代 331	女-30代 364	女-40代 452	女-50代 593
24	人はひとりでは生きていけないと思う	1.68	1.45	1.51	1.61	1.44	1.67	1.82	1.83	1.87	1.77
25	「たくさんの人やいろいろなものに支えられている」という感覚を持っている	1.56	1.33	1.24	1.39	1.34	1.60	1.72	1.70	1.74	1.64
26	目に見えるものだけがすべてではないと思う	1.48	1.22	1.29	1.40	1.25	1.40	1.65	1.57	1.70	1.62
23	人間の生とは、食べ物をはじめとしてたくさんの方の命の犠牲の上に成り立っているのだと思う	1.33	1.20	1.24	1.33	1.23	1.20	1.44	1.25	1.46	1.46
7	形式よりも、故人を思う心の方が重要だと思う	1.33	1.19	1.25	1.32	1.16	1.24	1.40	1.45	1.44	1.39
17	先祖との繋がりのもとに今の私たちがいることに感謝するべきだと思う	1.21	0.81	0.93	1.13	1.06	1.18	1.26	1.45	1.40	1.32
14	人の死に触れたり、故人を偲ぶことで、自分自身の人生について深く考えることができると思う	1.15	0.81	1.08	0.97	0.93	0.97	1.34	1.33	1.41	1.34
16	命日やお盆などの機会に、しっかり供養を行うのは大切なことだと思う	1.00	0.85	0.86	1.02	0.85	1.02	1.34	1.16	1.01	0.95
22	「人や自然は結局みな繋がっている」という感覚を持っている	0.86	0.38	0.54	0.71	0.68	0.84	0.91	0.82	1.16	1.09
15	人の死と向き合うことについて、もっと学校教育等にも盛り込んでいくべきだと思う	0.77	0.50	0.91	0.71	0.60	0.62	0.92	0.86	0.85	0.85
10	亡くなった人は、生きている自分や家族を見守ってくれていると思う	0.76	0.26	0.41	0.63	0.41	0.30	1.16	1.27	1.18	1.03
9	お葬式やお墓の建立などは、供養であるとともに、故人の記憶を守るためのものだと思う	0.70	0.50	0.60	0.66	0.66	0.82	0.79	0.71	0.74	0.69
8	自分の祖先や嫁ぎ先のお墓に必ずしも入る必要はないと思う	0.61	0.58	0.50	0.45	0.40	0.19	0.63	0.76	1.00	0.84
13	死んだ人の分まで、自分の生をまっとうするという意志を持つことが大事だと思う	0.57	0.35	0.33	0.49	0.41	0.45	0.80	0.80	0.74	0.70
12	自分自身が内面的に成長すれば、亡き人に対しての憎しみなども克服できると思う	0.53	0.22	0.32	0.29	0.35	0.51	0.43	0.66	0.70	0.65
20	「人智を超えた力の存在や働きがある」という感覚を持っている	0.41	-0.04	0.10	0.17	0.34	0.21	0.28	0.31	0.83	0.72
1	必ずしもお墓は持たなくてもいいと思う	0.31	0.30	0.16	0.17	0.22	0.02	0.29	0.37	0.50	0.49
21	「お天道様が見ている」というような感覚を持っている	0.22	-0.63	-0.23	0.03	0.03	0.13	-0.01	0.13	0.69	0.63
11	亡くなった人が、自分が困ったときなどに力を貸してくれる(くれている)と思う	0.16	-0.12	-0.01	0.11	-0.10	-0.28	0.46	0.67	0.57	0.32
18	死後の世界や靈魂は存在していると思う	-0.03	-0.16	-0.23	-0.18	-0.25	-0.61	0.38	0.32	0.50	0.27
19	「生まれ変わりや輪廻ということはある」という感覚を持っている	-0.03	-0.29	-0.30	-0.26	-0.23	-0.55	0.38	0.37	0.50	0.28
4	自分が死んだ後の世界のことを考えても無意味だと思う	-0.05	-0.10	-0.06	-0.02	0.07	0.12	-0.36	-0.30	-0.22	-0.06
5	人は所詮ひとりなんだと思う	-0.16	-0.63	-0.57	-0.34	-0.10	-0.04	-0.66	-0.51	-0.17	0.16
3	死んでも無に帰すだけだと思う	-0.19	-0.10	-0.18	-0.22	0.01	0.04	-0.62	-0.51	-0.39	-0.21
27	「人の死やお葬式などは何だか怖い」という感覚を持っている	-0.57	-0.53	-0.62	-0.63	-0.78	-0.93	-0.08	-0.26	-0.41	-0.48
2	お墓は必要だが、仏壇や位牌は必要がないと思う	-0.70	-0.64	-0.66	-0.89	-0.77	-0.96	-0.66	-0.54	-0.56	-0.60
6	死んだ人のことを考えても仕方ないと思う	-0.88	-0.76	-1.03	-0.86	-0.63	-0.50	-1.30	-1.30	-1.15	-0.92
28	「死に纏わるものごとを考えたり、話したりするのはよくない」という感覚を持っている	-0.97	-0.87	-0.86	-0.96	-1.06	-1.08	-0.85	-0.94	-0.84	-1.04

「人の死」に関する考え方・価値観（男性年代別）

- 男性は「人間は1人では生きていけない」「目に見えるものがすべてではない」「人はたくさんの人に支えられている」「他の生き物の犠牲の上に生がある」という思いは共通で上位にある。
- 偲ぶ気持ちにしても、「形式よりも故人を思う心の方が重要」が高く、「お墓は必要だが仏壇や位牌は必要ではない」にはやや否定的も同様。また抵抗を示す項目として「死をタブー視すること」で、この抵抗感は年代が上がるにつれ強いものとなっている。
- 年代で差が生じた内容としては、「自分が死んだ後の事を考えても仕方がない」「死んだ人の事を考えても仕方がない」「人は所詮1人だと思う」の3項目は、年代が高いほうが20代や30代に比べ、やや肯定的であった。

No			+2(自分もそう思う) -1(あまりそうは思わない) -2(まったくそう思わない) n	全体平均	男-20代	男-30代	男-40代	男-50代	男-60代
				4499	250	363	387	481	634
9	儀礼を重視	お葬式やお墓の建立などは、供養であるとともに、故人の記憶を守るためのものだと思う		0.70	0.50	0.60	0.66	0.66	0.82
16		命日やお盆などの機会に、しっかり供養を行うのは大切なことだと思う		1.00	0.85	0.86	1.02	0.85	1.02
1	現代的な「弔い」の感覚	必ずしもお墓は持たなくてもいいと思う		0.31	0.30	0.16	0.17	0.22	0.02
2		お墓は必要だが、仏壇や位牌は必要がないと思う		-0.70	-0.64	-0.66	-0.89	-0.77	-0.96
7		形式よりも、故人を思う心の方が重要だと思う		1.33	1.19	1.25	1.32	1.16	1.24
8		自分の祖先や嫁ぎ先のお墓に必ずしも入る必要はないと思う		0.61	0.58	0.50	0.45	0.40	0.19
17	自然や先祖とのつながりを信じる心	先祖との繋がりのもとに今の私たちがいることに感謝するべきだと思う		1.21	0.81	0.93	1.13	1.06	1.18
22		「人や自然は結局みな繋がっている」という感覚を持っている		0.86	0.38	0.54	0.71	0.68	0.84
23		人間の生とは、食べ物をはじめとてたくさんの命の犠牲の上に成り立っているのだと思う		1.33	1.20	1.24	1.33	1.23	1.20
24		人はひとりでは生きていけないと思う		1.68	1.45	1.51	1.61	1.44	1.67
25		「たくさんの人やいろいろなものに支えられている」という感覚を持っている		1.56	1.33	1.24	1.39	1.34	1.60
27	死のタブー視	「人の死やお葬式などは何だか怖い」という感覚を持っている		-0.57	-0.53	-0.62	-0.63	-0.78	-0.93
28		「死に纏わるものごとを考えたり、話したりするのはよくない」という感覚を持っている		-0.97	-0.87	-0.86	-0.96	-1.06	-1.08
10	生者と死者には深いつながりがあると信じる心	亡くなった人は、生きている自分や家族を見守ってくれていると思う		0.76	0.26	0.41	0.63	0.41	0.30
11		亡くなった人が、自分が困ったときなどに力を貸してくれる(くれている)と思う		0.16	-0.12	-0.01	0.11	-0.10	-0.28
12		自分自身が内面的に成長すれば、亡き人に対しての憎しみなども克服できると思う		0.53	0.22	0.32	0.29	0.35	0.51
13		死んだ人の分まで、自分の生をまっとうするという意志を持つことが大事だと思う		0.57	0.35	0.33	0.49	0.41	0.45
14		人の死に触れたり、故人を偲ぶことで、自分自身の人生について深く考えることができると思う		1.15	0.81	1.08	0.97	0.93	0.97
15		人の死と向き合うことについて、もっと学校教育等にも盛り込んでいくべきだと思う		0.77	0.50	0.91	0.71	0.60	0.62
3	達観や無常観	死んでも無に帰すだけだと思う		-0.19	-0.10	-0.18	-0.22	0.01	0.04
4		自分が死んだ後の世界の事を考えても無意味だと思う		-0.05	-0.10	-0.06	-0.02	0.07	0.12
5		人は所詮ひとりなんだと思う		-0.16	-0.63	-0.57	-0.34	-0.10	-0.04
6		死んだ人の事を考えても仕方ないと思う		-0.88	-0.76	-1.03	-0.86	-0.63	-0.50
18	目に見えない力を信じる気持ち	死後の世界や靈魂は存在していると思う		-0.03	-0.16	-0.23	-0.18	-0.25	-0.61
19		「生まれ変わりや輪廻ということはある」という感覚を持っている…		-0.03	-0.29	-0.30	-0.26	-0.23	-0.55
20		「人智を超えた力の存在や働きがある」という感覚を持っている		0.41	-0.04	0.10	0.17	0.34	0.21
21		「お天道様が見ている」というような感覚を持っている		0.22	-0.63	-0.23	0.03	0.03	0.13
26		目に見えるものだけがすべてではないと思う		1.48	1.22	1.29	1.40	1.25	1.40

「人の死」に関する考え方・価値観（女性年代別）

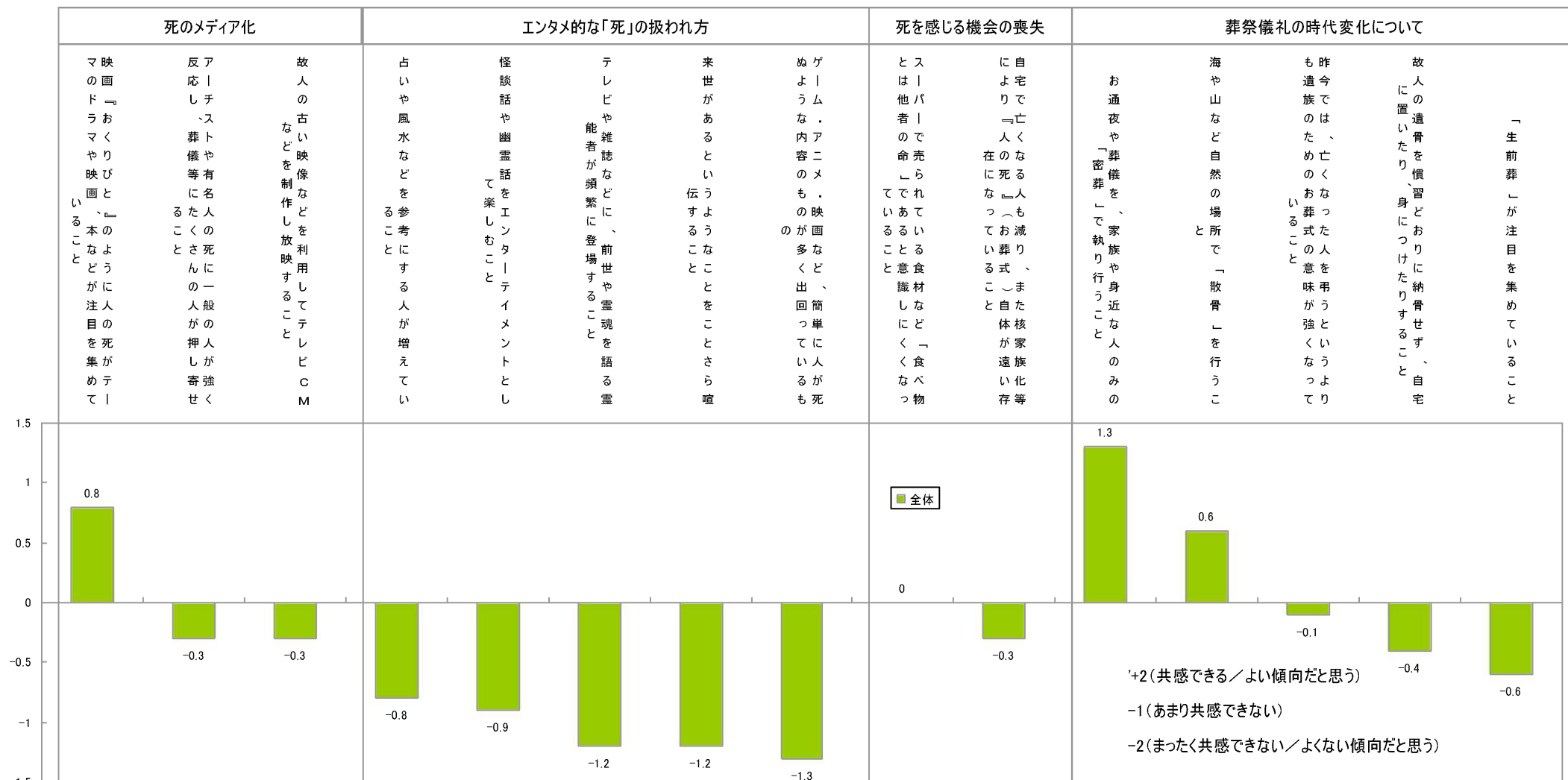
- 女性は「人間は1人では生きていけない」「目に見えるものがすべてではない」「人はたくさんの人に支えられている」「他の生き物の犠牲の上に生がある」がさらに男性より強く共通で上位にある。人のつながりの重要性や生の意味を男性より強く感じている。
- 故人を偲ぶ気持ちは、「形式よりも故人を思う心の方が重要」と考えている半面、「お墓は必要だが仏壇や位牌は必要ではない」にはやや否定的なことはやはり男性と同様。但し「祖先や嫁ぎ先のお墓に必ずしも入る必要はない」という意識は男性より強い。
- 最も抵抗を示す項目としては、50代60代では「死をタブー視すること」、20代～40代の「死んだ人の事を考えても仕方がない」。年代で特徴的であったのが、50代60代 女性は「人は所詮1人だ」という気持ちが他を抜いて強く、「死んでも無に帰すだけ」「人は所詮1人」に抵抗を示す20代、30代との乖離が見られた。そうは言いつつ、50代60代は、「人智を超えた力の存在」や「お天道様が見ている感覚」「自身が成長すれば亡き人への憎しみも克服できる」といった、本質主義的発想と自身の気持ちの浄化は特徴的。ここには死後の世界、霊魂、輪廻に肯定的な20代～40代とは異なった世界観が見られる。

No		+2(自分もそう思う) -1(あまりそうは思わない) -2(まったくそう思わない)	全体平均	女-20代	女-30代	女-40代	女-50代	女-60代
		n	4499	331	364	452	593	644
9	儀礼を重視	お葬式やお墓の建立などは、供養であるとともに、故人の記憶を守るためのものだと思う	0.70	0.79	0.71	0.74	0.69	0.68
16		命日やお盆などの機会に、しっかり供養を行うのは大切なことだと思う	1.00	1.34	1.16	1.01	0.95	0.96
1	現代的な「吊り」の感覚	必ずしもお墓は持たなくてもいいと思う	0.31	0.29	0.37	0.50	0.49	0.53
2		お墓は必要だが、仏壇や位牌は必要がないと思う	-0.70	-0.66	-0.54	-0.56	-0.60	-0.60
7		形式よりも、故人を思う心の方が重要だと思う	1.33	1.40	1.45	1.44	1.39	1.40
8		自分の祖先や嫁ぎ先のお墓に必ずしも入る必要はないと思う	0.61	0.63	0.76	1.00	0.84	0.80
17	自然や先祖とのつながりを信じる心	先祖との繋がりのもとに今の私たちがいることに感謝するべきだと思う	1.21	1.26	1.45	1.40	1.32	1.34
22		「人や自然は結局みな繋がっている」という感覚を持っている	0.86	0.91	0.82	1.16	1.09	1.03
23		人間の生とは、食べ物をはじめとてたくさんの方の犠牲の上に成り立っているのだと思う	1.33	1.44	1.25	1.46	1.46	1.39
24		人はひとりでは生きていけないと思う	1.68	1.82	1.83	1.87	1.77	1.74
25		「たくさんの方やいろいろなものに支えられている」という感覚を持っている	1.56	1.72	1.70	1.74	1.64	1.67
27	死のタブー視	「人の死やお葬式などは何だか怖い」という感覚を持っている	-0.57	-0.08	-0.26	-0.41	-0.48	-0.63
28		「死に纏わるものごとを考えたり、話したりするのはよくない」という感覚を持っている	-0.97	-0.85	-0.94	-0.84	-1.04	-1.01
10	生者と死者には深いつながりがあると信じる心	亡くなった人は、生きている自分や家族を見守ってくれていると思う	0.76	1.16	1.27	1.18	1.03	0.94
11		亡くなった人が、自分が困ったときなどに力を貸してくれる(くれている)と思う	0.16	0.46	0.67	0.57	0.32	0.16
12		自分自身が内面的に成長すれば、亡き人に対しての憎しみなども克服できると思う	0.53	0.43	0.66	0.70	0.65	0.80
13		死んだ人の分まで、自分の生をまっとうするという意志を持つことが大事だと思う	0.57	0.80	0.80	0.74	0.70	0.59
14		人の死に触れたり、故人を偲ぶことで、自分自身の人生について深く考えることができると思う	1.15	1.34	1.33	1.41	1.34	1.21
15	達観や無常観	人の死と向き合うことについて、もっと学校教育等にも盛り込んでいくべきだと思う	0.77	0.92	0.86	0.85	0.85	0.87
3		死んでも無に帰すだけだと思う	-0.19	-0.62	-0.51	-0.39	-0.21	-0.01
4		自分が死んだ後の世界のことを考えても無意味だと思う	-0.05	-0.36	-0.30	-0.22	-0.06	0.16
5		人は所詮ひとりなんだと思う	-0.16	-0.66	-0.51	-0.17	0.16	0.38
6	目に見えない力を信じる気持ち	死んだ人のことを考えても仕方がないと思う	-0.88	-1.30	-1.30	-1.15	-0.92	-0.75
18		死後の世界や霊魂は存在していると思う	-0.03	0.38	0.32	0.50	0.27	-0.07
19		「生まれ変わりや輪廻ということはある」という感覚を持っている…	-0.03	0.38	0.37	0.50	0.28	-0.09
20		「人智を超えた力の存在や働きがある」という感覚を持っている	0.41	0.28	0.31	0.83	0.72	0.68
21		「お天道様が見ている」というような感覚を持っている	0.22	-0.01	0.13	0.69	0.63	0.64
26		目に見えるものだけがすべてではないと思う	1.48	1.65	1.57	1.70	1.62	1.60

「人の死」に関する考え方・価値観（全体）

■時代的な死に対する価値観や葬祭儀礼の変化などに対する態度では、「密葬」は共感できる／よい傾向として多くの人々に受け入れられているが、納骨をしないスタイルや生前葬については、まだ多くの人々が共感できない／良くない傾向として拒否反応を示している。

■メディアでの死の扱われ方についてみると、ゲームやアニメ・映画で描かれる安易な死の表現には強い拒否反応があり、また、占いや風水のブーム、それらの専門化がメディアに多く登場することには拒否感を示している人が多い。一方的にメディアから押し付けるような形で思想・宗教的なメッセージを発せられることは好まれないものと見られる。有名人の死が注目されることや、故人をCMに起用する動きなどについてもやや拒否感の方が強く出ている。



「人の死」に関する考え方・価値観（男女年代別）

（Q9）

- 男性は、昨今の葬祭儀礼の変化や、メディアによるエンターテインメント的な死の扱われ方などに対し、否定的な意識を持っている人が多く、60代男性でその傾向が特に強い。「生前葬」は若い男性の間でも共感度が低い。
- 20～30代男性は、ゲームやアニメ作品に見られるような安易な死の描写やアーティストの葬儀に人が集まる様子や広告での故人の起用などには寛容な一方で、占いや風水などの大家がTVなどで活躍している現在の状況には否定的。年代が高いほどどちらも同じように否定されているが、若い世代にとってはゲームはゲーム、的な割り切り感覚があるものと見られ、年代により意識には大きな差が見られる。



no	+2(共感できる／よい傾向だと思う) -1(あまり共感できない) -2(まったく共感できない／よくない傾向だと思う)	全体 n	男-20代	男-30代	男-40代	男-50代	男-60代	女-20代	女-30代	女-40代	女-50代
		4499	250	363	387	481	634	331	364	452	593
14	お通夜や葬儀を、家族や身近な人のみの「密葬」で執り行うこと	1.30	0.85	0.96	1.22	1.20	1.19	1.17	1.41	1.54	1.48
1	映画『おくりびと』のように人の死がテーマのドラマや映画、本などが注目を集めていること	0.79	0.40	0.47	0.76	0.57	0.33	1.04	1.13	1.17	1.11
15	海や山など自然の場所で「散骨」を行うこと	0.62	0.57	0.67	0.67	0.42	0.23	0.86	0.85	0.82	0.73
7	スーパーで売られている食材など「食べ物とは他者の命」であると意識しにくくなっていること	0.04	-0.16	-0.06	-0.25	-0.03	-0.15	-0.05	0.07	0.30	0.22
6	昨今では、亡くなった人を弔うというよりも遺族のためのお葬式の意味が強くなっていること	-0.14	-0.42	-0.12	-0.18	-0.16	-0.30	-0.25	-0.22	-0.09	0.00
5	自宅で亡くなる人も減り、また核家族化等により『人の死』（お葬式）自体が遠い存在になっていること	-0.31	-0.46	-0.28	-0.40	-0.41	-0.53	-0.50	-0.29	-0.18	-0.10
3	アーティストや有名人の死に一般の人が強く反応し、葬儀等にたくさんの人が押し寄せること	-0.31	-0.10	-0.36	-0.25	-0.63	-0.96	0.56	0.45	-0.01	-0.38
9	故人の古い映像などを利用してテレビCMなどを制作し放映すること	-0.33	-0.20	-0.43	-0.25	-0.54	-0.99	0.24	0.23	0.08	-0.22
4	故人の遺骨を慣習どおりに納骨せず、自宅に置いたり、身につけたりすること	-0.35	-0.20	-0.23	-0.25	-0.49	-0.88	0.04	-0.06	-0.03	-0.37
13	「生前葬」が注目を集めていること	-0.64	-0.94	-0.95	-0.64	-0.70	-0.85	-0.78	-0.54	-0.33	-0.39
8	占いや風水などを参考にする人が増えていること	-0.75	-0.92	-0.82	-0.78	-0.98	-1.32	-0.29	-0.35	-0.33	-0.58
12	怪談話や幽霊話をエンターテインメントとして楽しむこと	-0.88	-0.56	-0.74	-0.66	-0.89	-1.12	-0.80	-0.78	-0.77	-0.98
10	テレビや雑誌などに、前世や霊魂を語る霊能者が頻繁に登場すること	-1.19	-1.37	-1.38	-1.28	-1.30	-1.56	-1.02	-0.87	-0.77	-1.03
11	来世があるというようなことをことさら喧伝すること	-1.22	-1.38	-1.40	-1.34	-1.30	-1.43	-1.08	-1.03	-1.01	-1.12
2	ゲーム・アニメ・映画など、簡単に人が死ぬような内容のものが多く出回っているもの	-1.35	-0.55	-0.99	-1.27	-1.41	-1.62	-1.07	-1.29	-1.48	-1.50

「人の死」に関する考え方・価値観（男性年代別）

（Q9）

■男性は「家族や身内で密葬を行うこと」「おくり人のようなテーマが注目されること」「散骨」に全年代が共感。反対に、「来世の存在のアピール」「霊能者のマスコミでの登場」には否定的であり、これにも増して50代、60代は「ゲームやアニメ・映画での安易な死の扱い」に強い抵抗を示している。同様に50代、60代は「生前葬」や、「納骨をしな いこと」も否定的である。

■やや年代的特徴としては、「ゲームやアニメ・映画での安易な死の扱い」「怪談話や幽霊話」「アーティストや有名人の死への強い一般人の反応」「CMの故人が登場すること」に20代は抵抗感が強くないが、50代、さらに60代は強い抵抗感を示している点である。「占い・風水」も否定的で、これは女性よりも抵抗感を持っている。

特にポジティブに反応

特にネガティブに反応

no		+2(共感できる／よい傾向だと思う) -1(あまり共感できない) -2(まったく共感できない／よくない傾向だと思う)	全体	男-20代	男-30代	男-40代	男-50代	男-60代
			n					
4	葬祭儀礼の時代変化について	故人の遺骨を慣習どおりに納骨せず、自宅に置いたり、身につけたりすること	-0.35	-0.20	-0.23	-0.25	-0.49	-0.88
6		昨今では、亡くなった人を弔うというよりも遺族のためのお葬式の意味が強くなっていること	-0.14	-0.42	-0.12	-0.18	-0.16	-0.30
13		「生前葬」が注目を集めていること	-0.64	-0.94	-0.95	-0.64	-0.70	-0.85
14		お通夜や葬儀を、家族や身近な人のみの「密葬」で執り行うこと	1.30	0.85	0.96	1.22	1.20	1.19
15		海や山など自然の場所で「散骨」を行うこと	0.62	0.57	0.67	0.67	0.42	0.23
2	エンタメ的に「死」が扱われていること	ゲーム・アニメ・映画など、簡単に人が死ぬような内容のものが多く出回っているもの	-1.35	-0.55	-0.99	-1.27	-1.41	-1.62
8		占いや風水などを参考にする人が増えていること	-0.75	-0.92	-0.82	-0.78	-0.98	-1.32
10		テレビや雑誌などに、前世や霊魂を語る霊能者が頻繁に登場すること	-1.19	-1.37	-1.38	-1.28	-1.30	-1.56
11		来世があるというようなことをことさら喧伝すること	-1.22	-1.38	-1.40	-1.34	-1.30	-1.43
12		怪談話や幽霊話をエンターテインメントとして楽しむこと	-0.88	-0.56	-0.74	-0.66	-0.89	-1.12
5	死を感じる機会の喪失	自宅で亡くなる人も減り、また核家族化等により『人の死』（お葬式）自体が遠い存在になっていること	-0.31	-0.46	-0.28	-0.40	-0.41	-0.53
7		スーパーで売られている食材など「食べ物とは他者の命」であると意識しにくくなっていること	0.04	-0.16	-0.06	-0.25	-0.03	-0.15
1	死のメディア化	映画『おくりびと』のように人の死がテーマのドラマや映画、本などが注目を集めていること	0.79	0.40	0.47	0.76	0.57	0.33
3		アーティストや有名人の死に一般の人が強く反応し、葬儀等にたくさんの人が押し寄せること	-0.31	-0.10	-0.36	-0.25	-0.63	-0.96
9		故人の古い映像などを利用してテレビCMなどを制作し放映すること	-0.33	-0.20	-0.43	-0.25	-0.54	-0.99

「人の死」に関する考え方・価値観（女性年代別）

（Q9）

■ 女性は「家族や身内で密葬を行うこと」「散骨」「おくり人のようなテーマが注目されること」に全年代がさらに男性より強く共感。「ゲームやアニメ・映画での安易な死の扱い」は男性より強く、「来世の存在のアピール」「霊能者のマスコミでの登場」は、男性ほどではないが否定的。

■ 「怪談話や幽霊話」も特に60代は嫌っており、エンターテインメント的な中では、「占い・風水」はまだ抵抗感は弱かった。特に年代的特徴としては、50代、60代は昨今は故人より遺族のための葬儀となっていることへの共感、20代、30代は「アーティストや有名人の死への強い一般人の反応」「CMの故人が登場すること」に肯定的なのに対し、50代60代が否定的な点であろうか。

特にポジティブに反応
特にネガティブに反応

+2(共感できる／よい傾向だと思う) -1(あまり共感できない) -2(まったく共感できない／よくない傾向だと思う)			全体	女-20代	女-30代	女-40代	女-50代	女-60代
no		n	4499	331	364	452	593	644
4	葬祭儀礼の時代変化について	故人の遺骨を慣習どおりに納骨せず、自宅に置いたり、身につけたりすること	-0.35	0.04	-0.06	-0.03	-0.37	-0.50
6		昨今では、亡くなった人を弔うというよりも遺族のためのお葬式の意味が強くなっていること	-0.14	-0.25	-0.22	-0.09	0.00	0.09
13		「生前葬」が注目を集めていること	-0.64	-0.78	-0.54	-0.33	-0.39	-0.54
14		お通夜や葬儀を、家族や身近な人のみの「密葬」で執り行うこと	1.30	1.17	1.41	1.54	1.48	1.54
15		海や山など自然の場所で「散骨」を行うこと	0.62	0.86	0.85	0.82	0.73	0.62
2	エンタメ的に「死」が扱われていること	ゲーム・アニメ・映画など、簡単に人が死ぬような内容のものが多く出回っているもの	-1.35	-1.07	-1.29	-1.48	-1.50	-1.53
8		占いや風水などを参考にする人が増えていること	-0.75	-0.29	-0.35	-0.33	-0.58	-0.83
10		テレビや雑誌などに、前世や霊魂を語る霊能者が頻繁に登場すること	-1.19	-1.02	-0.87	-0.77	-1.03	-1.21
11		来世があるというようなことをことさら喧伝すること	-1.22	-1.08	-1.03	-1.01	-1.12	-1.11
12		怪談話や幽霊話をエンターテインメントとして楽しむこと	-0.88	-0.80	-0.78	-0.77	-0.98	-1.09
5	死を感じる機会の喪失	自宅で亡くなる人も減り、また核家族化等により『人の死』（お葬式）自体が遠い存在になっていること	-0.31	-0.50	-0.29	-0.18	-0.10	-0.12
7		スーパーで売られている食材など「食べ物とは他者の命」であると意識しにくくなっていること	0.04	-0.05	0.07	0.30	0.22	0.28
1	死のメディア化	映画『おくりびと』のように人の死がテーマのドラマや映画、本などが注目を集めていること	0.79	1.04	1.13	1.17	1.11	0.89
3		アーティストや有名人の死に一般の人が強く反応し、葬儀等にたくさんの人が押し寄せること	-0.31	0.56	0.45	-0.01	-0.38	-0.55
9		故人の古い映像などを利用してテレビCMなどを制作し放映すること	-0.33	0.24	0.23	0.08	-0.22	-0.52

「人の死」に関する考え方・価値観（男性）

（Q8×Q9）

- 男性では、現代的な弔いのスタイルの変化に肯定的な人や、生者と死者のつながりを信じる人、目に見えない力を信じる人などで、家族や近親者のみの密葬や、「散骨」などについて肯定的な傾向がある。生きている人が故人を想う気持ちを何よりも重視し、その意味で、お葬式やお墓などの従来の形式も重んじる。
- 一方で、達観や無常観が強いことも、密葬や散骨を肯定する態度と関連が強い。現代的な葬祭儀礼のスタイルは、2つの異なる価値軸により支えられていると見られる。

			14		1	15	7	6	5	4	3	9	13	12	8	2	11	10
			お通夜や葬儀を、家族や身近な人のみの「密葬」で執り行うこと		映画『おくりびと』のように人の死がテーマのドラマや映画、本などが注目を集めていること	海や山など自然の場所での「散骨」を行うこと	スーパーで売られている食材など「食べ物とは他者の命」であること意識しにくくなっていること	昨今では、亡くなった人を用いるというよりも遺族のためのお葬式の意味が強くなっていること	自宅で亡くなる人も減り、また家族等により「人の死」へお核式〜自体が遠い存在になっ	故人の遺骨を慣習どおりに納骨せず自宅に置いておくこと	人が強く反応し、葬儀等にたいさ	故人の古い映像などを活用してテレビCMなどを制作し放映すること	「生前葬」が注目を集めていること	怪談話や幽霊話をエンターテインメントとして楽しむこと	占いや風水などを参考にしている人が増えていること	ゲーム・アニメ・映画などの、簡単に人が死ぬような内容のものが多	来世があるというようなことをこ	テレビや雑誌などに、前世や霊魂を語る霊能者が頻繁に登場すること
男性			1.3以上		-1.35以下													
no	男性平均	2115	1.12	0.50	0.47	-0.13	-0.23	-0.43	-0.48	-0.55	-0.56	-0.81	-0.85	-1.01	-1.27	-1.37	-1.39	-1.38
24	人はひとりでは生きていけないと思う	1817	1.22	0.62	0.51	-0.09	-0.22	-0.44	-0.47	-0.47	-0.49	-0.78	-0.83	-0.97	-1.29	-1.37	-1.38	-1.38
25	「たくさんの人やいろいろなものに支えられている」という感覚を持っている	1717	1.23	0.67	0.52	-0.05	-0.20	-0.42	-0.46	-0.46	-0.51	-0.79	-0.87	-0.97	-1.31	-1.35	-1.38	-1.38
26	目に見えるものだけがすべてではないと思う	1663	1.26	0.67	0.57	-0.07	-0.18	-0.41	-0.41	-0.46	-0.48	-0.77	-0.81	-0.93	-1.29	-1.34	-1.36	-1.36
23	人間の生とは、食べ物をはじめとしてたくさんの命の犠牲の上に成り立っているのだと思う	1608	1.27	0.66	0.63	0.02	-0.11	-0.37	-0.41	-0.50	-0.47	-0.73	-0.78	-0.97	-1.27	-1.36	-1.39	-1.39
7	形式よりも、故人を思う心の方が重要だと思う	1607	1.34	0.63	0.67	-0.01	-0.16	-0.34	-0.39	-0.50	-0.50	-0.75	-0.83	-1.00	-1.28	-1.41	-1.42	-1.42
17	先祖との繋がりのもとに今の私たちがいることに感謝するべきだと思う	1481	1.26	0.73	0.49	-0.05	-0.25	-0.46	-0.46	-0.45	-0.45	-0.77	-0.84	-0.90	-1.35	-1.32	-1.34	-1.34
14	人の死に触れたり、故人を偲ぶことで、自分自身の人生について深く考えることができると思	1417	1.26	0.82	0.59	-0.02	-0.21	-0.42	-0.39	-0.43	-0.40	-0.75	-0.82	-0.93	-1.31	-1.32	-1.36	-1.36
9	命日やお盆などの機会に、しっかり供養を行うのは大切なことだと思う	1403	1.21	0.73	0.41	-0.07	-0.29	-0.48	-0.50	-0.39	-0.48	-0.77	-0.84	-0.86	-1.32	-1.30	-1.32	-1.32
22	「人や自然は結局みな繋がっている」という感覚を持っている	1244	1.29	0.77	0.63	0.01	-0.16	-0.36	-0.39	-0.44	-0.42	-0.71	-0.75	-0.88	-1.30	-1.29	-1.33	-1.33
16	お葬式やお墓の建立などは、供養であるとともに、故人の記憶を守るためのものだと思う	1238	1.24	0.71	0.47	-0.07	-0.20	-0.45	-0.51	-0.43	-0.45	-0.76	-0.80	-0.93	-1.29	-1.36	-1.37	-1.37
15	人の死と向き合うことについて、もっと学校教育等にも盛り込んでいくべきだと思う	1230	1.30	0.76	0.61	-0.01	-0.19	-0.40	-0.38	-0.44	-0.41	-0.70	-0.79	-0.93	-1.32	-1.29	-1.34	-1.34
10	亡くなった人は、生きている自分や家族を見守ってくれていると思う	1081	1.16	0.78	0.48	-0.09	-0.31	-0.53	-0.45	-0.34	-0.38	-0.76	-0.88	-0.73	-1.33	-1.17	-1.21	-1.21
13	死んだ人の分まで、自分の生をまっとうするという意志を持つことが大事だと思う	1071	1.25	0.82	0.59	-0.06	-0.22	-0.40	-0.43	-0.37	-0.38	-0.73	-0.86	-0.90	-1.31	-1.26	-1.31	-1.31
8	自分の祖先や嫁ぎ先のお墓に必ずしも入る必要はないと思う	1050	1.42	0.54	1.00	0.01	-0.02	-0.17	-0.18	-0.56	-0.50	-0.61	-0.69	-1.07	-1.20	-1.45	-1.45	-1.45
12	自分自身が内面的に成長すれば、亡き人に対しての憎しみなども克服できると思う	1030	1.31	0.75	0.64	0.01	-0.23	-0.41	-0.45	-0.39	-0.41	-0.70	-0.83	-0.89	-1.29	-1.25	-1.29	-1.29
20	「人智を超えた力の存在や働きがある」という感覚を持っている	956	1.22	0.77	0.57	-0.04	-0.19	-0.43	-0.40	-0.41	-0.41	-0.72	-0.71	-0.76	-1.29	-1.15	-1.20	-1.20
1	必ずしもお墓は持たなくてもいいと思う	922	1.38	0.51	1.03	0.01	-0.05	-0.14	-0.11	-0.67	-0.63	-0.63	-0.75	-1.13	-1.21	-1.46	-1.45	-1.45
4	自分が死んだ後の世界のことを考えても無意味だと思う	848	1.26	0.29	0.65	-0.05	-0.09	-0.26	-0.39	-0.74	-0.63	-0.79	-0.76	-1.16	-1.28	-1.59	-1.54	-1.54
21	「お天道様が見ている」というような感覚を持っている	801	1.23	0.78	0.55	-0.07	-0.28	-0.48	-0.49	-0.46	-0.49	-0.72	-0.82	-0.75	-1.42	-1.17	-1.22	-1.22
3	死んでも無に帰すだけだと思う	796	1.33	0.35	0.83	0.02	0.00	-0.20	-0.34	-0.79	-0.64	-0.70	-0.76	-1.26	-1.19	-1.62	-1.58	-1.58
11	亡くなった人が、自分が困ったときなどに力を貸してくれる（くれている）と思う	778	1.16	0.83	0.51	-0.10	-0.28	-0.49	-0.39	-0.22	-0.30	-0.75	-0.86	-0.66	-1.28	-1.11	-1.12	-1.12
5	人は所詮ひとりなんだと思う	674	1.28	0.38	0.72	0.04	-0.01	-0.16	-0.37	-0.78	-0.73	-0.64	-0.83	-1.09	-1.26	-1.44	-1.43	-1.43
18	死後の世界や霊魂は存在していると思う	657	1.16	0.94	0.53	0.00	-0.17	-0.44	-0.34	-0.22	-0.33	-0.72	-0.74	-0.51	-1.17	-0.91	-0.94	-0.94
19	「生まれ変わりや輪廻ということはある」という感覚を持っている…	650	1.14	0.88	0.51	-0.03	-0.24	-0.44	-0.34	-0.30	-0.35	-0.71	-0.75	-0.58	-1.25	-0.90	-0.98	-0.98
27	「人の死やお葬式などは何だか怖い」という感覚を持っている	417	1.14	0.58	0.48	0.08	-0.13	-0.30	-0.40	-0.23	-0.44	-0.78	-0.71	-0.84	-1.11	-1.15	-1.16	-1.16
6	死んだ人のことを考えても仕方ないと思う	408	1.15	0.11	0.65	0.05	0.11	-0.18	-0.50	-0.75	-0.71	-0.63	-0.86	-1.14	-1.24	-1.52	-1.47	-1.47
2	お墓は必要だが、仏壇や位牌は必要がないと思う	312	1.21	0.50	0.73	-0.03	-0.10	-0.01	-0.28	-0.50	-0.46	-0.69	-0.74	-1.09	-0.99	-1.31	-1.35	-1.35
28	「死に縛られるもの」を考えたり、話したりするのはよくない」という感覚を持っている	264	0.94	0.28	0.43	0.01	-0.08	-0.13	-0.36	-0.26	-0.41	-0.78	-0.73	-0.85	-1.02	-1.05	-1.10	-1.10

「人の死」に関する考え方・価値観（女性）

（Q8×Q9）

- 女性の中で、自然と人、先祖や死者と生者のつながりや目に見えないものの力を信じる傾向にある人は、「食べ物とは他者の命である」ことを意識しにくくなっていると強く感じている。食の安全が分かりやすい形で目に見えず不安が広がっていく社会背景が、こうした意識を強めているとも考えられる。
- また、目に見えない力や死者とのつながりを信じる気持ちは、男性同様、「おくりびと」への共感を強めている。こうした映像作品などがきっかけになり、多くの人が故人を想うことや儀式の大切さに改めて気づき始めたということもいえるだろう。男性では否定的であった有名人の死に強く反応することや故人がCMなどで起用されている現象については、女性は、「おくりびと」的な意味で肯定に捉えているとも考えられる。

			14	1	15	7	6	3	9	5	4	13	8	12	10	11	
			「お通夜や葬儀を、家族や身近な人のみの集めていくこと」 「密葬」で執り行うこと	映画『おくりびと』のよう に人の死が 集まっていること	海や山など自然の場所 で「散骨」を行う こと	スーパードラマや映画、 本などが注目を 集めていること	物とは他者の命である と意識しにくく なっていること	昨日では、亡くなった人 を弔うというよ りも遺族のためのお葬 式の意味が強く なっていること	アーチストや有名人の 死に一般の人が押し 寄せること	Mなどの制作し放映す ること	故人の古い映像などを 利用してテレビC Mなどを利用すること	自宅で亡くなる人も減 り、また核家族化等によ り『人の死』（お葬式） 自体が遠く存在になっ ていること	故人の遺骨を慣習ど おりになす骨せず、自 宅に置いたり、身につ けたりすること	「生前葬」が注目を 集めていること	占いや風水などを参 考にする人が増えて いること	怪談話や幽霊話をエ ンターテイメントと して楽しむこと	
女性			1.55以上 -1.4以下														
女性全体	2384	1.46	1.06	0.75	0.19	-0.06	-0.10	-0.11	-0.20	-0.24	-0.50	-0.52	-0.91	-1.00	-1.08	-1.4	
24	人はひとりでは生きていけないと思う	2230	1.50	1.14	0.79	0.22	-0.06	-0.07	-0.09	-0.20	-0.23	-0.49	-0.50	-0.93	-1.00	-1.07	-1.4
25	「たくさんの人やいろいろなものに支えられている」という感覚を持っている	2143	1.50	1.16	0.78	0.22	-0.05	-0.06	-0.06	-0.20	-0.24	-0.48	-0.50	-0.93	-1.00	-1.07	-1.4
26	目に見えるものだけがすべてではないと思う	2097	1.52	1.13	0.79	0.23	-0.07	-0.06	-0.08	-0.21	-0.24	-0.49	-0.47	-0.91	-0.97	-1.04	-1.4
7	形式よりも、故人を思う心の方が重要だと思う	1943	1.58	1.14	0.90	0.26	-0.04	-0.08	-0.08	-0.18	-0.16	-0.42	-0.53	-0.91	-1.01	-1.07	-1.4
23	人間の生とは、食べ物をはじめとしてたくさんの命の犠牲の上に成り立っているのだと思う	1931	1.54	1.19	0.84	0.31	-0.01	-0.05	-0.06	-0.17	-0.20	-0.43	-0.48	-0.89	-0.97	-1.06	-1.4
17	先祖との繋がりのもとに今の私たちがいることに感謝するべきだと思う	1891	1.51	1.25	0.74	0.27	-0.07	-0.03	-0.03	-0.22	-0.24	-0.48	-0.41	-0.93	-0.91	-0.99	-1.4
14	人の死に触れたり、故人を偲ぶことで、自分自身の人生について深く考えることができると思	1859	1.54	1.24	0.78	0.28	-0.05	0.00	0.00	-0.20	-0.17	-0.47	-0.45	-0.91	-0.96	-1.05	-1.4
10	亡くなった人は、生きている自分や家族を見守ってくれていると思う	1708	1.52	1.22	0.75	0.25	-0.13	0.03	0.02	-0.26	-0.23	-0.47	-0.37	-0.93	-0.88	-0.96	-1.4
16	お葬式やお墓の建立などは、供養であるとともに、故人の記憶を守るためのものだと思う	1665	1.47	1.22	0.68	0.26	-0.12	0.06	-0.01	-0.25	-0.31	-0.54	-0.36	-0.90	-0.91	-0.98	-1.4
22	「人や自然は結局みな繋がっている」という感覚を持っている	1643	1.54	1.22	0.85	0.30	-0.07	-0.05	0.00	-0.23	-0.19	-0.45	-0.43	-0.91	-0.95	-1.01	-1.4
15	人の死と向き合うことについて、もっと学校教育等にも盛り込んでいくべきだと思う	1511	1.55	1.27	0.82	0.31	-0.07	0.00	0.03	-0.18	-0.12	-0.42	-0.46	-0.92	-0.95	-1.02	-1.4
8	自分の祖先や嫁ぎ先のお墓に必ずしも入る必要はないと思う	1496	1.63	1.09	1.08	0.32	0.08	-0.15	-0.14	-0.04	-0.02	-0.35	-0.61	-0.89	-1.07	-1.15	-1.4
9	命日やお盆などの機会に、しっかり供養を行うのは大切なことだと思う	1419	1.51	1.19	0.66	0.25	-0.07	0.03	0.01	-0.21	-0.30	-0.51	-0.45	-0.87	-0.95	-1.01	-1.4
13	死んだ人の分まで、自分の生をまっとうするという意志を持つことが大事だと思う	1404	1.48	1.25	0.73	0.30	-0.05	0.05	0.04	-0.18	-0.23	-0.47	-0.40	-0.94	-0.94	-0.99	-1.4
12	自分自身が内面的に成長すれば、亡き人に対しての憎しみなども克服できると思う	1374	1.55	1.23	0.84	0.30	-0.05	0.03	0.00	-0.20	-0.25	-0.44	-0.44	-0.91	-0.95	-1.00	-1.4
20	「人智を超えた力の存在や働きがある」という感覚を持っている	1354	1.53	1.22	0.82	0.33	-0.02	-0.06	-0.03	-0.21	-0.19	-0.39	-0.34	-0.86	-0.81	-0.89	-1.4
21	「お天道様が見ている」というような感覚を持っている	1268	1.55	1.22	0.80	0.31	-0.04	-0.03	0.00	-0.22	-0.24	-0.38	-0.32	-0.88	-0.86	-0.93	-1.4
1	必ずしもお墓は持たなくてもいいと思う	1245	1.66	1.08	1.25	0.35	0.09	-0.16	-0.14	0.03	0.03	-0.28	-0.61	-0.88	-1.07	-1.18	-1.4
11	亡くなった人が、自分が困ったときなどに力を貸してくれる(くれる)と思う	1200	1.48	1.24	0.70	0.27	-0.13	0.09	0.07	-0.33	-0.22	-0.47	-0.24	-0.92	-0.79	-0.88	-1.4
19	「生まれ変わりや輪廻」といことはある」という感覚を持っている…	1098	1.47	1.28	0.77	0.27	-0.15	0.12	0.16	-0.28	-0.24	-0.43	-0.14	-0.82	-0.63	-0.68	-1.4
18	死後の世界や霊魂は存在していると思う	1094	1.41	1.22	0.69	0.26	-0.17	0.12	0.11	-0.31	-0.31	-0.44	-0.10	-0.84	-0.56	-0.69	-1.3
5	人は所詮ひとりなんだと思う	899	1.61	0.91	0.89	0.29	0.12	-0.32	-0.34	-0.02	-0.22	-0.45	-0.65	-0.96	-1.11	-1.15	-1.4
4	自分が死んだ後の世界のことを考えても無意味だと思う	847	1.56	0.88	0.98	0.30	0.09	-0.32	-0.32	0.02	-0.12	-0.53	-0.77	-0.87	-1.19	-1.29	-1.3
3	死んでも無に帰すだけだと思う	729	1.59	0.94	1.12	0.40	0.24	-0.27	-0.21	0.11	-0.07	-0.36	-0.80	-0.81	-1.26	-1.35	-1.4
27	「人の死やお葬式などは何だか怖い」という感覚を持っている	665	1.41	1.03	0.80	0.32	0.00	0.14	-0.03	-0.09	-0.09	-0.45	-0.35	-0.91	-0.91	-0.96	-1.3
2	お墓は必要だが、仏壇や位牌は必要がないと思う	478	1.52	0.98	0.93	0.41	0.16	-0.20	-0.06	0.03	-0.10	-0.42	-0.57	-0.84	-1.05	-1.17	-1.3
28	「死に纏わるもの」を考えたり、話したりするのはよくない」という感覚を持っている	305	1.33	0.77	0.59	0.38	0.10	0.07	-0.07	-0.04	-0.20	-0.55	-0.29	-0.82	-0.89	-0.91	-1.2
6	死んだ人のことを考えても仕方ないと思う	282	1.40	0.61	0.69	0.31	0.15	-0.44	-0.38	0.15	-0.37	-0.54	-0.71	-0.91	-1.13	-1.16	-1.2